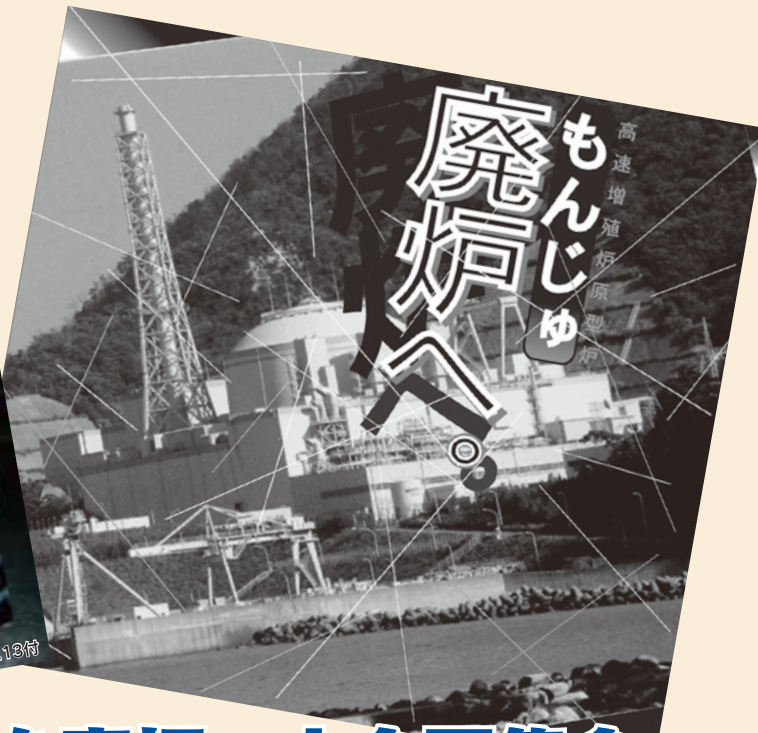


ムダ、ムリ、無謀。止めさせよう！ 巨大大事故が待ち受ける来夏の40%運転

ナトリウム漏洩検知器の誤作動や屋外排気ダクトの腐食、ずさんな保守管理などが原因で4度の再開延期を繰り返してきた「もんじゅ」は、事故から14年5ヶ月後の5月8日臨界に達し、即その日から誤作動の警報が鳴りっ放しです。9月には原子炉内に3・3トンもの炉内中継装置を落下させ、炉内への影響が心配です。

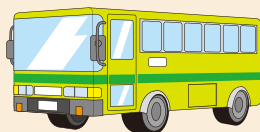
いたる所に設計ミスがひそんでおり、もはや動かすべきではありません。いまやっているような目先の措置だけで、ナトリウム火災事故が起きた直前の状態と同じ40%運転に入れば、必ず大事故が起きるでしょう。



'10もんじゅを廃炉へ！全国集会

12/3(金) PM4時30分 全国 プルサーマル核燃料サイクル 交流会 敦賀商栄会館2F

12/4(土) AM11時
敦賀市白木へ



敦賀市白木海岸(もんじゅ前)行き
JR敦賀駅前午前10時出発
貸し切りバス代往復 1500円

抗議集会と原子力機構申し入れ
もんじゅ廃炉を求める全国集会

もんじゅの現状とこれから
核燃料サイクル各地報告
増殖いらぬプルトニウム事情
もんじゅ最終章へ

白木海岸
敦賀市プラザ万象

原発反対福井県民会議
再処理、プルサーマルなど
環境ジャーナリスト
もんじゅ監視委員会

午前11時
午後1時30分～3時30分

小木曾美和子
青森、石川、大阪
鈴木真奈美
小林圭二

市中行進

プラザ万象～JR敦賀駅 午後3時30分～4時

全国集会に賛同してください

郵便振替口座 00760-6-50628 原発反対福井県民会議 もんじゅを廃炉へ！全国集会賛同費
個人賛同費／一口1000円以上 団体賛同費／一口5000円以上

'10もんじゅを廃炉へ！全国集会実行委員会

呼びかけ団体 ■ 原子力発電に反対する福井県民会議 / 原水爆禁止日本国民会議 / 原子力資料情報室 / ストップ・ザ・もんじゅ / 反原発運動全国連絡会
連絡先 ■ 原子力発電に反対する福井県民会議 〒910-0859 福井市日の出3-9-3 TEL/FAX 0776-25-7784
福井県平和センター TEL 0776-21-5321 FAX 0776-27-5773

もんじゅを動かしてはいけない。

◎改造工事をしたけれど、もんじゅ固有の危険性は変わらない

プルトニウムの危険

1gで25才喫煙男性440万人を死に至らす人工の猛毒物質。毒性が半減するのに2万4千年もかかる半永久物質。核兵器の材料にもなる。もんじゅは炉心に1200Kgも詰め込んでいます。

ナトリウムの危険

空気や水に触れると激しく爆発炎上する扱いが困難な物質。もんじゅには1500tものナトリウムが使われ、ごく一部が漏れただけで1995年の重大なナトリウム火災事故が起きました。

炉心崩壊事故の危険

暴走しだすと出力上昇が加速し、炉心爆発の危険が大きい構造となっています。

地震に弱い原発

配管の厚みは薄く、長く蛇行し、外部の衝撃を受けると破断しやすい構造です。

◎15年間も長期停止していた原発を動かした例は世界にない

軽水炉原発でさえ、事故を起こし10年を超えて停止し再開した例はありません。

プルトニウムを冷却材に使う「もんじゅ」は、配管内にナトリウムがわずかでも付着していれば腐食し、健全性は維持できません。原子力機構の調査は、ほんの一部に過ぎず、すべての健全性確認はしていません。

◎再開するや連日警報。900件超える。制禦棒操作ミスや重量物の原子炉内落下

再開直前に起きたナトリウム漏洩検知器の誤警報は、原子力機構(旧動燃)がメーカーや下請けに丸投げし、設計ミスを見逃し、自立した品質保証が出来ていないこと、検知器の施工状況について点検が行なわれていなかったことが原因でした。

国や原子力機構の「もんじゅ安全性確認」は一部に過ぎません。臨界当日は燃料漏れ検出器が6回も誤警報を出す始末です。

8月には3.3トンもの重量物が原子炉内で落下し、その影響が心配です。

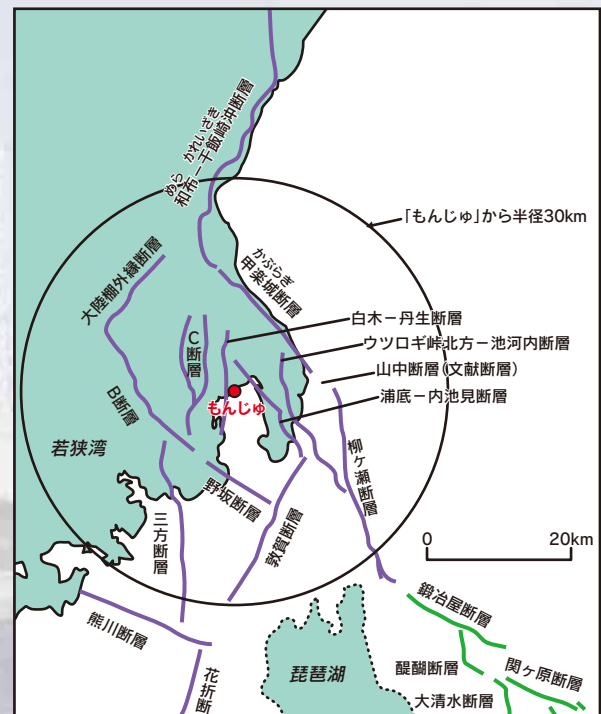
◎40%出力試験は、大事故を自ら招くに等しい

15年前のナトリウム火災事故は、40%出力運転に入ってもなく起きています。事故以来止まったままの水・蒸気系機器も動かすこととなります。次は水・ナトリウム接触事故も起こりえます。新たな設計ミスや点検漏れが次々顕在化しつつあるいま、予定通り40%出力試験を強行することは、自ら大事故を招く愚挙でしかありません。

◎もんじゅは活断層銀座のど真ん中

敦賀半島は文字通り活断層銀座。「もんじゅ」のサイト直下をM6.9の活断層が2本も走っています。敦賀原発、美浜原発にもサイト直下に活断層が。全国でも例を見ない活断層の上の立地です。

ひずみエネルギーが蓄積された空白地域であるため、地震学者が「原発震災」を警告している要危険地域です。



◎実現性のない高速増殖炉に税金をつぎ込むのは止めさせよう

止まったままの「もんじゅ」にこの14年半、維持管理費として1日5500万円の税金がつぎ込まれ、本年度は233億円、その後10年は毎年200億円の税金投入が見込まれています。

2050年になっても高速増殖炉実用化は実現性がない(近藤俊介原子力委員長)のだから、半世紀も前の古びた核燃料サイクル政策に税金を注ぎ込むのは止め、再生可能な自然エネルギー政策への転換を求めよう。